報道機関の皆さんへお知らせ

報道発表資料の配付日時　２月 26 日（木）15 時 00 分

標　　題	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報の発令について
日　　時	令和８年(2026 年) ２月 26 日(木)　15 時 00 分
場　　所	
内　　容	八雲保健所管内におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者の報告数が、警報の発令基準以上となったため、別紙のとおりA群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報を発令しましたので、お知らせします。 感染しないためには、患者との濃厚接触を避けることが最も重要です。また、感染予防には、手洗いや咳エチケットが有効です。
取材に当たってのお願い	
他のクラブとの関係	
連　絡　先	北海道八雲保健所（北海道渡島総合振興局保健環境部八雲地域保健室） 健康推進課長　小練　美由紀 TEL　0137-63-2168

配布形式　電子■・紙□　　渡島総合振興局　　ＨＰ掲載　有■・無□

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報の発令について【速報値】

令和８年２月 26 日（木）15 時 00 分

北海道八雲保健所
電 話：0137-63-2168

北海道では感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき感染症発生動向調査を実施しておりますが、令和８年第８週（令和８年２月 16 日～令和８年２月 22 日）において、八雲保健所管内の定点医療機関あたりの患者報告数が、警報の発令基準以上となりましたので、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報を発令します。

記

1　定点医療機関あたりの患者報告数（第８週速報値）

区　　分	八雲保健所	全　　道	全　　国
定点あたり患者数	14.00 人	集計中	集計中

2　Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは

Ａ群β溶血性レンサ球菌（*Streptococcus pyogenes*）を病原体とする感染症であり、主な感染経路は飛沫感染および接触感染です。

咽頭炎は学童に多く、冬季と、春から初夏の２つの流行のピークがあります。潜伏期間は、２日から５日であり、発熱、咽頭痛、倦怠感、嘔吐などの症状を呈し、猩紅熱では特徴的な紅斑やいちご舌、落屑がみられます。

感染経路は、主に飛沫感染・接触感染です。急性期は最も感染性が高く、家庭や学校での集団感染を引き起こすこともあります。

3　Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎の感染予防

感染しないためには、患者との濃厚接触を避けることが最も重要です。また、感染予防には、手洗いや咳エチケットが有効です。

4　参考

（1）Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎の注意報・警報とは

厚生労働省の感染症発生動向調査により、八雲保健所管内の小児科定点医療機関を受診したＡ群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者数が、国立感染症研究所において設定した注意報・警報の発令基準値に達した場合に発令します。

注意報は、流行の発生前であれば今後４週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示しており、流行発生後であれば、その流行がまだ終わっていない可能性があることを示しています。

また、警報は、大きな流行の発生や継続が疑われることを示しています。

【発令基準】注意報：当該疾患に関する発令基準は、ありません。
警　報：１定点医療機関あたりの受診患者数が一週間で８人以上となった場合
※警報発令後は１定点医療機関あたりの受診患者数が４人以上であれば警報を継続

（2）最近５週間における定点医療機関の患者報告数（単位：人）

	第４週 （1/19～1/25）	第５週 （1/26～2/1）	第６週 （2/2～2/8）	第７週 （2/9～2/15）	第８週 （2/16～2/22）
八雲保健所	0 (0.00)	6 (6.00)	4 (4.00)	2 (2.00)	14 (14.00)
全　道	525 (5.15)	577 (5.66)	644 (6.31)	613 (6.07)	集計中
全　国	6623 (2.87)	6511 (2.82)	6698 (2.90)	6643 (2.66)	集計中

（　）は１定点医療機関あたりの報告数
※第８週の患者報告数は速報値。